

観光施策を充実・強化するための国際観光旅客税の拡充 (国際観光旅客税)

観光施策を充実・強化させることにより、観光客の受入れと住民生活の質の確保の両立を図り、地域経済・社会に好循環をもたらす、真の「観光立国」の実現を目指すため、国際観光旅客税を拡充する。

施策の背景

- 近年、オーバーツーリズムの課題等が顕在化する中、地域経済・社会に好循環をもたらす、真の「観光立国」を実現するためには、オーバーツーリズム対策の強化や、地方誘客・需要分散に対する中長期的な視点に立った抜本的な対策が必要。
- 以下のような観光施策※を充実するためには、国際観光旅客税の引上げによる財源確保が必要不可欠。
※ 国際観光振興法及び国際観光旅客税の使途に関する基本方針に適合するもの(以下は令和8年度から実施する主な施策)。

1. オーバーツーリズム対策の徹底

インバウンドの受入れと住民生活の質の確保との両立 を図るための個別課題への対応

○ 過度の混雑対策

- ・混雑状況の見える化による混雑回避の誘発や手ぶら観光の推進など、過度の混雑に対する対策の強化
- ・需要管理のための新たな仕組みの導入促進
(パークアンドライドの実施、需要に応じた入域管理や予約制導入・有料化等)
- ・円滑な出入国・通関等の環境整備 等

○ マナー違反対策

- ・観光客へのマナー啓発など、マナー違反対策の強化
- ・違反行為防止のための環境整備支援 (撮影スポットの整備、スマートごみ箱の設置等) 等

○ 違法な民泊サービスの解消

地方誘客の推進による特定の都市・地域への 集中は正と分散の推進

○ 地方の観光地の魅力向上・地方誘客

- ・広域連携DMO等が中心となった観光地域づくり
- ・廃屋撤去・再生による地方温泉地等も含めた観光まちづくり
- ・国立公園など自然資源を活用した観光振興の強化
- ・文化資源・スポーツツーリズムを活用した全国各地への観光拡大・充実
- ・地方誘客・観光需要の分散に資するプロモーション 等

○ 地方部への交通ネットワークの機能強化

- ・空港アクセス鉄道、国内航空、クルーズ船等の交通基盤の機能強化
- ・観光地への二次交通の整備 等

2. 日本人出国者への配慮

○ 安全安心な海外旅行環境の整備 等

※上記「1. オーバーツーリズム対策の徹底」中にも、空港アクセス鉄道や国内航空の機能強化等、日本人出国者にも裨益する施策も含まれる。

要望の結果

- 国際観光旅客税の税率を、現行の旅客1人1回当たり1,000円から3,000円に引き上げる。
- 事業者の準備期間等を考慮し、令和8年7月1日以後に適用する。
(注)令和8年7月1日より前に締結された一定の運送契約に基づく同日以後の出国は旧税率(1,000円)を適用。
- 今後、更なる観光施策の強化・充実を図るための財源確保の必要性や、今回の税率引上げによる旅客の負担感、事業者の実務等を勘案した上で、税率の見直しについて、できるだけ早期に結論を得られるよう検討を行う。